

年頭所感

名寄商工会議所
会頭 木賀 義晴



明けましておめでと
うございます。こうして
新しい年を皆さんと共
に迎えられることを心
より感謝したいと思います。

昨年は、百年に一度と
いわれるような大恐慌
が全世界を襲い、この影
響は、二〇〇九年度に持
ち越され、今年も多難な
経済状況が予想されま
す。

一方で政治は、混迷を
深め不透明感を増して
おります。加えて、少子
化、高齢化、財政再建、
地球温暖化、社会保障制
度のあり方など、構造的
な大きな課題を抱えて
おります。

北海道も財政再建、支
庁再編、地方分権改革推
進委員会の第二次勧告
を受け、北海道開発局の
今後の行方を注視しな
ければなりません。

厳しい経済社会環境
ではあります。企業は
変化への対応で危機を
乗り越えていかなけれ
ばなりません。

名寄市においても昨
年の世相を表した漢字
「変」にふさわしく、
経済界をゆるがした一
年でした。徳田地区のイ
オンショッピングセン
ター・ポスフィルのオー
ブンにより消費動向が
大きく変化しました。オ
ーブン半年程でその影
響を早計に見通すこと
はできませんが、中心市
街地商店街は、核店舗の
西條さんを始め、その影
響を最小限に抑える努
力をしていることに大
変心強く思っております。

大型店出店を機に中
心市街地活性化事業に
着手し早期に決定をと
鋭意努力を続けており
ますが、残念ながら越年
となりましたことは、名
寄市の顔といわれる駅
前中心街の「街づくり」
が、いかに難しく、今後
の名寄の五十年、百年を
も決める大事業である
ということを物語って

いることもいえます。
一昨年十一月に駅横
への、さつぼろ市民生協
出店計画の意向が市に
示されたことも大きな
一因となりました。

「中心市街地の空洞
化」はいけないと皆が思
っている。しかし、街中
に人が暮らすことの楽
しさ、街の文化の大切さ
、街中に住むことの快適
さに人が気づけば、人は
どんどん街中に来てく
れる。郊外出店を規制す
ることもさることなが
ら、街中にお客様が来た
がるような受け皿づく
りが極めて重要な事だ
と思えます。

中心市街地活性化事
業には、行政の役割と、
核店舗の役割を抜きに、
活性化事業の成就是無
いものと思っております。
遅れております活性化
事業も昨年暮れに、西
條さんの駅横計画が、
市・会議所に示されまし
た。大きな一歩、前進と
受け止めております。行
政との協議を進め、中心
市街地活性化協議会の
立ち上げに向けて議論
を深めていくことにな

るでしょう。

中心市街地活性化事
業にはハードウェアは
必要です。ソフトウェア
はもつと大事だ。しかし
それよりも大事なのは
「ハートウェア」だと言
われております。心を込
めて頑張る、自分達の街
を大事にする。三つ揃っ
て初めて成功できる街
になる。

名寄市の二〇〇九年
の経済状況も暗い話ば
かりではありません。
名寄市立大学は四年
制移行への最終年であ
り、約八百名の学生と約
百名の教職員の九百名
体制となります。市立総
合病院は「ICU棟」を
はじめとする診療施設
の完成で一段と充実し
ます。文部省の予算もつ
き、サンピラーパークに
天文台建設の目的が立
ちました。そして、サン
ルダム本体工事にも予
算が付き、いよいよ本格
的に動き出す予定とな
り、このような中にあつ
て、東洋経済の調査によ
ると、道内都市の「住み
よさランキング三位」と
いう評価も受けている

ように、地域生活基盤整
備は着々と進んでおり
ます。

岡村日商会頭は「個の
光」を輝かすことが経済
の活力の向上に繋がる
と提唱しております。
昨年暮れに、大変うれ
しいニュースを拝見し
ました。当会議所が推選
しておりました「いつて
みたいお店大賞」に東洋
肉店が道内一店だけと
いう、最高位の大賞に選
ばれました。まさに「個
の光」が名寄にもあるこ
とが実証されました。

経済環境は厳しい状
況に直面しており、まさ
に「土砂降り」状況とも
云えます。しかし経営環
境が「土砂降り」であつ
ても、経営は「雨天中止」
とはいかないもの。新年
は「災い転じて福とな
す」。「力」が試される年
でもあります。厳しい現
状を見据えて、将来ビジ
ョンを皆さんと共有し
つつ、役員一同、一層
の努力をしてまいりま
すので、皆さまのご支援
とご協力をお願い申し
上げ、新年の挨拶としま
す。

年頭所感

日本商工会議所
会頭 岡村 正



平成二十一年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

元氣な企業・地域が日本経済を支える

経済のグローバル化、IT化・ネットワーク化の進展、価値観・ニーズの多様化など、わが国の経済社会情勢はめまぐるしく、大きく変化しております。こうした中、わが国経済は、世界経済の同時減速による急激な輸出の減少、個人消費の低迷などにより景気後退に直面しております。

一方で、少子・高齢化、財政再建、地球温暖化、社会保障制度のあり方など、構造的な大きな課題を抱えております。

厳しい経済社会環境ではありますが、この危機を変革の機会と捉え、イ

ノベーション（改革）を果断に遂行することにより、個々の企業で働く従業員が活き活きとその能力を発揮し、「個の光」を輝かすことが、日本経済の活力向上につながるものと確信しています。

このためにも、独自の強みを存分に発揮できる自由で活力ある経済社会を構築することが強く望まれます。

政府・与党におかれては、一刻も早い経済の回復のため、内需拡大を実現し、閉塞感を一掃するため、財政・金融・税制など、あらゆる手段を総動員し、果断に政策運営を行うていただきたいと存じます。

イノベーションに挑む企業の『個』の光を引き出し地域の大きな輝きに

現場に立脚した明確なビジョンを示して

地域の産業活動を支え、雇用の維持・創出にも重要な役割を果たしている中小企業が、絶え間ないイノベーションへの挑戦で、日々の経営を革新し、経営の現場を元気にすることが、地域経済の活性化の根源であると考えま

す。

私たち商工会議所は、地域を代表する総合経済団体として、時代時代に対応して地域経済社会の活性化、中小企業の活力強化に向け、活動してまいりましたが、われわれも環境の変化に対応しこれまでに以上に努力をしていかなければなりません。

昨今のアメリカ発の世界金融危機の原因が明るみになるにつれ、モノをつくり、つくったモノを売り、サービスすると

いう実体経済の基本に立ち返り、製造や販売の「現場」を直視すべきとの思いを新たにいたしました。「現場」に内包するさまざまな情報を的確に把握することにより次にやるべきこと、さらには中長期的に進むべきビジョンが導かれると思ひます。

わが国経済はこれまでにない困難に直面しておりますが、現状を見据え、

明確な将来のビジョンを皆さんと共有し、希望に満ちた明るい未来に向かつて邁進してまいりたいと思ひます。一つひとつの力は小さくとも、同じ方向に一齐に舵を切れば、大きな推進力になります。なくてはならない商工会議所へ

日本商工会議所では平成二十年七月に、向こう三年間の「商工会議所中期行動計画」を策定しました。政策提言活動と中小企業・各地商工会議所の支援

の柱として、全国の商工会議所間のネットワークを強化し、総力を結集して、国や自治体を取り組むべき施策を積極的に提言するとともに、経営支援活動を通じて個々の企業の経営課題に対してきめ細かく対応します。

特に、企業にとつてもはや避けては通れない地球温暖化問題については、平成二十年六月に「商工会議所環境行動計画」を策定しました。

「環境と経済の両立」の大原則の下、「低炭素経営」の実現に向け、二酸化炭素の排出量の把握の支援など、商工会議所の会員である中小企業などが地域において自主的・継続的に取り組めるようさまざまなメニューを提示して、積極的に支援してまいります。

今まさに、「現場」に根差した商工会議所活動が求められています。本年は、日本商工会議所と全国の商工会議所が連携して、「信頼される商工会議所」、さらには「なぐてはならない商工会議所」を目指します。全国五百十六商工会議所の百四十一万会員それぞれが、独自の強みを存分に発揮し、「個が光る」活動を展開することを大いに期待してまいります。個々の企業の光をコーディネートし、大きな地域の光にすること、それがわれわれの役目です。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申しあげました。年頭のごあいさつといたします。

年頭所感

北海道商工会議所連合会
会頭 高向 巖



平成二十一年の年頭に当たり、日々ご活躍の會員並びにご関係の皆様にご挨拶申し上げます。

顧みますと、昨年の我が国経済は、アメリカや欧州における世界金融危機に端を発した株式市場為替市場の大幅な変動を受け、景気は十月以降後退局面に入りました。

北海道経済においてもその影響を受け、自動車部品等の外需の減速や民間設備投資の減退、家計防衛意識からくる個人消費の冷え込み、さらには公共事業の縮減、雇用情勢の悪化など、実体経済が急激に収縮する大変厳しい一年でありました。

一方、昨年七月には北海道洞爺湖サミットが地球環境問題をテーマにG8をはじめ世界各国から多くの要人が来道し開催されたことは、北海道を広く世界にアピールする機会に恵まれるなど、本道の歴史に新しい一ページを飾る出来事でありました。

今後の北海道経済発展のためには、地域経済を支える中小企業を再生することが急務であり、これまで以上の創意工夫と商工会議所を中心とした民間活力を結集することが肝要であります。

地域経済の振興と致しましては、農工商連携の推進による経済構造の転換が重要であります。本道の基幹産業である農業・水産業・林業と経済界が連携を図り、他産業のもつ情報や人材、技術を結びつけるなど、引き続き新たな産業群の育成に努めたいと存じます。また、アンテナショップ実験店舗の開設や地域ブ

ランド品販売システムの構築など販売促進にも支援して参りたいと考えております。

政策提言活動につきましても、本道の経済活性化につながる景気対策の推進、自立化のための地方分権と道州制のあり方そして、その基盤となる社会資本整備の促進について強化していきたいと存じます。

特に、北海道新幹線につきましても、昨年十二月に政府与党ワーキンググループにおいて札幌・長万部間が平成二十一年末までに着工を目指すことになりましたことは一歩前進したことと受け止めております。札幌延伸が認可・着工されることで交流人口の拡大や観光振興など、経済効果が期待されるところであり、引き続き、世論を喚起させ積極的な要請活動を展開して参る所存です。環境と経済の両立の観点からは、道内中小企業が環境問題に関心を高め

ていただくために構築した北海道環境マネジメントシステム・スタンダード(HES)の普及に努めていく所存です。昨年、ISO14001審査員研修コースを修了した道内十会議所の職員を新年度に環境コーディネーター(仮称)として委嘱し、HESの更なる理解と浸透を図ることと致しております。

国際化・グローバル化への対応としては、本道の近隣国である中国東北三省及びロシア極東地域との経済交流を強化する時期と捉え、商工会議所同士の経済サミット開催の検討、本道商品の海外販売拡大として北海道物産展開催に対する協力を行いたいと考えております。

中小企業対策では、経営指導員は主に金融・税務を中心とした経営指導を行って参りましたが、これからの時代に必要となる農工商連携のコーディネート機能や環境問題

といったジャンルにも相談・指導が可能な人材を育成していく必要があると考えております。

地域を活かした道内観光の振興については、北海道の強みである食と観光をアピールするイベントを、北海道産業団体協議会、各地会議所と協力し実施して参りたいと考えております。また、地域が行う中心市街地の再生・活性化に向けた「まちの賑わい」創出事業について支援して参りたいと考えております。

新しい北海道の姿を展望しつつ、全道四十二商工会議所はもとより、他の経済団体、関係機関との連携を一層強固にしなから、活力ある地域経済の実現と会員企業の発展に役立てるよう全力を傾注して参りたいと考えております。

各地商工会議所並びに関係各位の益々のご繁栄をお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

永年の功績を称え

今年も優良従業員表彰と産業表彰は平成二十一年一月二十四日にグランドホテル藤花で、新年交礼会・新春講演会に併せて行われます。
受賞者は次の通りです。

名寄商工会議所産業表彰

栄 誉 賞 (敬称略)

北昭産業(株)

代表取締役 常本照也

功 勞 賞 (敬称略)

森越商事(株)

代表取締役 森越正弘

時計・眼鏡・宝石のタケウチ

代表 竹内文雄

静美堂

代表 鈴木順子

優良従業員表彰

勤続五十年

(株)東洋肉店

勤続三十九年

(株)西條

勤続三十六年

名寄生コンクリート(株)

勤続三十五年

(株)大野組

名寄生コンクリート(株)

(有)永田商会

勤続三十年

(株)丸徳木質商店

(株)西條

(株)真鍋組

(株)坂下組

(有)永田商会

(株)名寄振興公社

勤続二十年

(株)西條

北昭産業(株)

(有)アクシス

昭和産業(株)

(有)岩守産業

(株)真鍋コンクリート

名寄生コンクリート(株)

名寄美装工業(株)

(株)名寄振興公社

勤続十年

(有)名寄衛生公社

(株)西條

北昭産業(株)

(株)真鍋組

(株)坂下組

昭和産業(株)

北建工業(株)

扶桑興業(株)

(有)永田商会

名寄美装工業(株)

(株)名寄振興公社

スナック テネシー

(以上、十九事業所四十九名)

第57回優良従業員表彰式 新春特別講演会 新年交礼会

日時 平成21年1月24日(土)16:15～
会場 グランドホテル藤花 2F
内容
表彰式 16:15～17:00

受賞者は参加されます様お願いします。

講演会 17:00～18:30

演 題 『どうなる日本の政治と経済』

講 師 テレビ朝日コメンテーター
(みたその さとし)

三反園 訓 氏



早稲田大学卒業後、テレビ朝日入社、90年頃からは「ニュースステーション」の政治担当キャスターとして解説に当たる。現在「やじうまプラス」「スーパーモーニング」「たけしのTVタックル」などコメンテーターとして出演中。早稲田大学大学院公共経営研究科講師。

どなたでも聴講できますが、整理券を下記のところでお求めください。

名寄商工会議所・グランドホテル藤花
北星信用金庫本店・支店

新年交礼会 18:30～20:00

会券は当所で販売しております。

1名 4,000円

ご当地グルメ誕生

今まで名寄商工会議所青年部はオリジナルバーガーを製作しイベント等で販売してきました。

このたび、名寄商工会議所会員の飲食店に呼びかけをし、それぞれのお店でバーガーを作っていたため、説明会を開催し、賛同して頂けるお店を募ってきました。去る十二月六日の地産地消フェアinなよろで、なよろバーガーが初公開となり

ました。『名寄バーガー』はもち米粉パン・アスパラ・地産の食材を使用する事が条件で、同フェアでは市内五店舗(創作キッチンたまさぶろ・食工房おると・ヒビンカ・千花・ペリカン)のバーガーを配布しNHKなど報道機関も取材に來られ大盛況でした。

これからも参加店を募集しますので参加希望者は当所までご連絡ください。
<http://nayoro-yeg.jp/>

社会保険事務相談所開設日程表

	名寄商工会議所	名寄市役所	時 間
1月	8日(木)	22日(木)	13:00～16:30
	9日(金)	23日(金)	9:00～11:30
2月	5日(木)	19日(木)	13:00～16:30
	6日(金)	20日(金)	9:00～11:30
3月	12日(木)	26日(木)	13:00～16:30
	13日(金)	27日(金)	9:00～11:30

ご相談は予約制となりましたので、下記専用電話までご連絡のうえ来所下さい。

相談予約専用電話 0166-72-5004

西條が修正案を提案

JR 名寄駅横の市有地有効活用 中活事業で調整へ

性化全体像に
活かすか方向
性を出したい
と考えており
ます。

当所では中心市街地活性化に向け、まちづくり委員会等にて議論を重ね、二十八の事業案をまとめました。重要地区である JR 名寄駅横市有地については、「街なか居住」の重点地区として民間アパートもしくは市営住宅建設を意見集約し、その後、具現化に向け小グループにて協議を続け、

特定目的会社が事業主体となり中心市街地活性化事業として、国と市に補助金と出資金の協力を求める計画で市へも提案したところですが、

そのような状況下、(株)西條が、独自の開発計画案をまとめ、市へ提出しました。「中心市街地活性化のため、まちづくりに必要な要素を整備していきたい」と、当所の計画に沿った「街なか居住」と東地区の住民ニーズに沿った「商業施設」を柱とした計画になっております。

西條の開発コンセプト

地域密着都市型商業施設
延床面積約千三百㎡で名寄駅周辺、東地区に住む住民に要望されている生鮮食品と日用雑貨を中心に扱う商業施設を想定。

街なか居住

二十八戸アパートと社宅を想定。マンション経営の希望があれば土地のリースも行う。

複合交流施設

名寄市、各バス会社と協議し建設。他の施設要望あれば計画に組み入れたい。

旧長崎屋店舗

3 6 街再開発も視野に入れているので、現西條本部の物流センター移

西條の駅横開発計画図



転先として利用も検討したい。

名寄市はJR名寄駅横の市有地活用の最終判断を、商工会議所の中で西條案をどのように位置付けるか決めてもらった上で、判断したい」とコメント。

先日の記者会見で、木賀会頭は「基本計画の中身を考えるに当たり、西條百貨店が示す案を同じテーブルに上げて検討するに値するものと考えている」とコメント。

今後、同会議所商業振興委員会が中心となり、これまで示している中活案を修正しながら商業界としての意見集約を行い市



JR名寄駅横の市有地 約 12,000 m²

に示したいと考えております。

この件に関し、広く皆様のご意見を伺いたいと考えておりますのでご意見・ご要望あれば事務局までお願いいたします。

道の「第二回いつてみたい商店街&お店北海道表彰」が行われ、今年度は全道より、商店街部門で十六候補者、個店部門で十五候補者の応募がありました。

当所が今年度推薦した「(株)東洋肉店(代表取締役 東澤光芳)」が個店部門で見事、大賞を受賞しました。

同表彰は、道内の商店街、個店の優れた取り組みを対象とし、優良事例を道内に発信し、魅力ある商店街や個店をバックアップすることを目的とし、平成十九年度より実施。

市町村・経済団体から推薦のあつた商店街、個店を対象に、学識経験者らで構成される選考委員会が、取組の新規性・創造性・困難性・地域貢献度を審査する。

東洋肉店は、昭和三年に創業した老舗の精肉小売店。平成十年には、新たな販路として同社三代目となる東澤壮晃さんによりホームページ「ジンギスカンWEB」を立上げ、ジンギスカンのネット販売を開始。新しい顧客の開拓、羊肉にこだわったオリジナル商品の開発・販売など全国へ展開している。

平成十七年には、第九回日本オヨッピング大賞を受賞し、多くの雑誌にも掲載されており、今回の表彰ではインターネットによる商品販売、顧客の開拓など独自の取り組みが評価された。

いつてみたい商店街&お店 北海道表彰 ネットで全国販売 (株)東洋肉店が大賞受賞

道の「第二回いつてみたい商店街&お店北海道表彰」が行われ、今年度は全道より、商店街部門で十六候補者、個店部門で十五候補者の応募がありました。

当所が今年度推薦した「(株)東洋肉店(代表取締役 東澤光芳)」が個店部門で見事、大賞を受賞しました。

同表彰は、道内の商店街、個店の優れた取り組みを対象とし、優良事例を道内に発信し、魅力ある商店街や個店をバックアップすることを目的とし、平成十九年度より実施。

市町村・経済団体から

推薦のあつた商店街、個店を対象に、学識経験者らで構成される選考委員会が、取組の新規性・創造性・困難性・地域貢献度を審査する。

東洋肉店は、昭和三年に創業した老舗の精肉小売店。平成十年には、新たな販路として同社三代目となる東澤壮晃さんによりホームページ「ジンギスカンWEB」を立上げ、ジンギスカンのネット販売を開始。新しい顧客の開拓、羊肉にこだわったオリジナル商品の開発・販売など全国へ展開している。



平成十七年には、第九回日本オヨッピング大賞を受賞し、多くの雑誌にも掲載されており、今回の表彰ではインターネットによる商品販売、顧客の開拓など独自の取り組みが評価された。

